
2018 年

新見市産業連関表

報告書

2021 年 12 月

新 見 市

はじめに

今日、多くの地方自治体では人口減少と高齢化に悩み、地域経済の維持に苦勞している。新見市においては、住民基本台帳の人口で見ると昭和 39 年以降減少傾向が続いており、平成の合併後においてもその減少傾向に歯止めがかかっていない状況である。

地域経済の政策部門を担う地方自治体では、地域活性化を目指して公共投資や企業誘致という手段をこれまで多くとってきた。また、地域資源を活用した六次産業化や域外マネー獲得のための観光振興にも多くの自治体に取り組んできている。

しかしながら、それらが持続可能な地域振興をもたらしているかどうかになると、その評価は微妙である。微妙という言葉の意味には、少なからずの自治体において活性化の効果が継続していないのではないかという点と、それら地域振興の地域経済効果自体がきちんと分析されていないという点が含まれている。

総合的な地域活性化策を効果的に展開する上では、地域の経済力を的確に把握することが不可欠である。地域の経済力を評価するためには、ある産業の産業規模といった一面だけを切り取った統計で得られる数値ではなく、地域内外との経済的な関係性を分析する必要がある。例えば、地域振興においては、工場誘致策がしばしば展開されてきた。その工場誘致のために、多くの自治体では多額の財源を投入し、工業団地を造成と誘致のための事業費用を計上し、立地企業に対して優遇税制を実施してきた。工場誘致の結果、確かに雇用が生まれ一定の経済効果が地域経済にもたらされるが、他方で雇用効果以外には期待したほどの経済効果が地域に波及していないといった事例も散見される。¹ こういった事例のほとんどは、誘致企業の調達構造により地元企業への発注に制約があることや、域内で生み出された付加価値が本社へ間接的に移転していることなどにより経済効果の漏出によって引き起こされているのである。

地域振興施策の効果が十分に現れない理由は、このような状況に凝縮されている。つまり、地域の産業連関構造（経済主体間の地域内・地域間の取引構造）に問題があるのである。新たな企業誘致をしても、その企業の連関構造が当該地域の産業構造に充分連結していないときは、想定した効果は生まれない。また、公共投資をいくら実施しても、その資材を域外に依存するばかりであっては地域経済への還元は低い。より専門的に言えば、地域の産業連関構造、投入係数や移入係数、付加価値係数などを変えないと持続できる地域経済は構築できないということである。

このような状況は、結果的に効果的な地域政策が打てなかったという点において、地域政策の失敗と捉えることもできるが、他方でこれまで地域の経済力（人・物・金）を把握し、地域の循環構造を分析した上で、効果的な地域政策を立案するといった手法が確立されていなかったことも事実である。

上述のような地域経済の構造的問題点に対し、地域経済の評価とその処方箋を講じる分析

¹ 雇用効果にしても、地域内の他の事業所からの転職であれば効果はゼロサムである。実際に域外からの人の流入を伴うか、新卒者の域外への転出の食い止め、さらには地域の失業者の減少につながらないと行けない。

として、「地域経済構造分析」と呼ばれる手法を開発してきた。その地域経済構造分析の中核部分は、地域経済の循環分析というもので、地域間・地域内におけるヒト、財・サービス、情報、マネーの流れを定量的に把握するための分析として位置づけられる。

地域経済の連関構造を変えるには、当然、地域の産業連関構造を知る必要がある。ここでも、都道府県や政令指定都市は産業連関表という地域経済を知る手立てがあるが、普通の市町村に至ってはそれを知るよしもない。地方都市がそれを知るには独自で産業連関表を作成し、それを使った各種の政策シミュレーションを実施し、地域経済構造を把握しないとけない。

今回の調査研究は、新見市の地域産業連関表を各種統計データに加えて事業所への取引構造をとらえるアンケート調査に基づいて作成し、地域経済構造を分析したものである。いわゆるサーベイメソッドを採用した地域産業連関表である。これによって、RESAS等ノンサーベイ法で作成されている市町村産業連関表に比べて非常に高い精度となっている。

岡山大学大学院社会文化科学研究科
特任教授 中村良平

なお、本調査業務は、新見市が岡山経済研究所に委託し、(一般社団法人) つながる地域づくり研究所の調査協力を得て、岡山大学大学院社会文化科学研究科の中村良平特任教授の指導と監修の下実施したものである。

目次

第1章 新見市の人口推移.....	1
1. 旧市町村別.....	1
2. 年齢階層別.....	2
3. 人口増減.....	4
4. 昼間人口、夜間人口.....	7
第2章 新見市の経済構造.....	8
1. 新見市産業連関表の概要.....	8
2. スカイラインチャート.....	11
3. 総供給、総需要.....	13
4. 歩留まり率.....	29
5. 影響力係数と感応度係数.....	31
第3章 経済効果に関するシミュレーション.....	36
第4章 消費者向けアンケート調査.....	38
1. 調査の概要.....	38
2. 集計結果.....	38
第5章 大学調査.....	50
1. 新見公立大学の概要.....	50
2. 支出額.....	52
3. 収入額.....	58
4. 産業連関表への対応.....	60
5. その他の調査項目.....	64